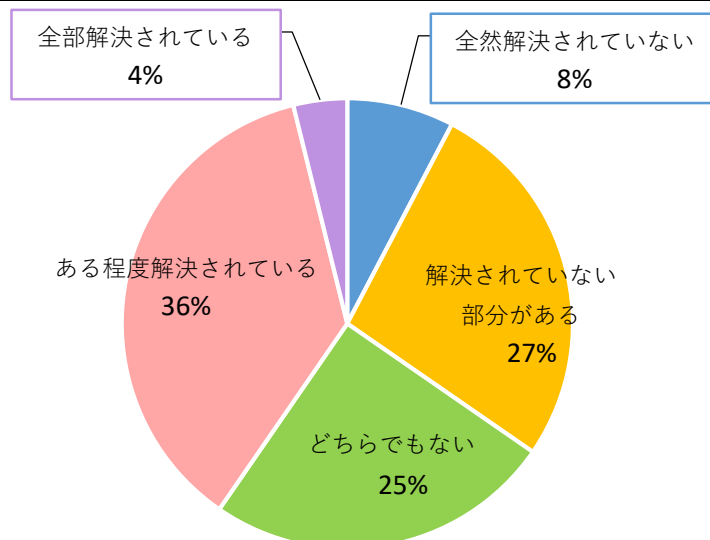


住民自治（まちづくり）協議会の運営に係るアンケート結果から

1

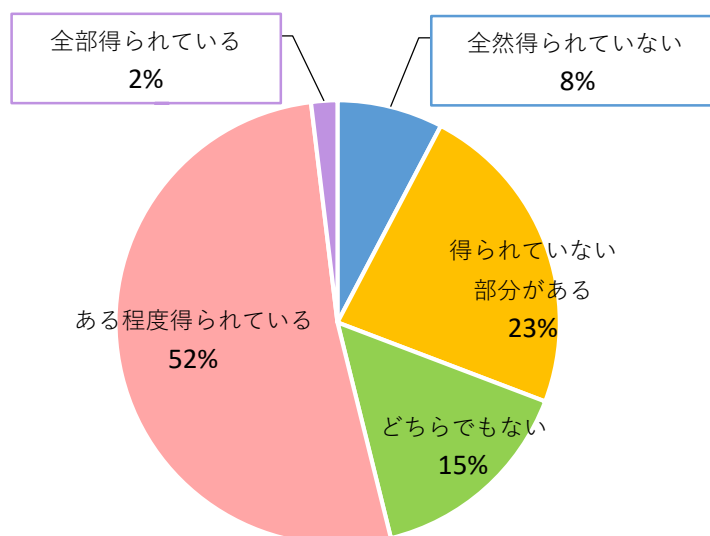
まち協からの行政に対する要望が解決されているか。



・「全然解決されていない」「解決されていない部分がある」は、35%と「ある程度解決されている」36%と同程度の割合でした。まち協の事業について、疑問点は行政にご相談していただきながら進め、ある程度解決されている地域もあると考えます。行政では、少しでも住民の皆さんのまち協に対する理解が広がり、暮らしやすく人が集う豊かな地域社会の実現が叶うよう支援していきたいと考えます。

2

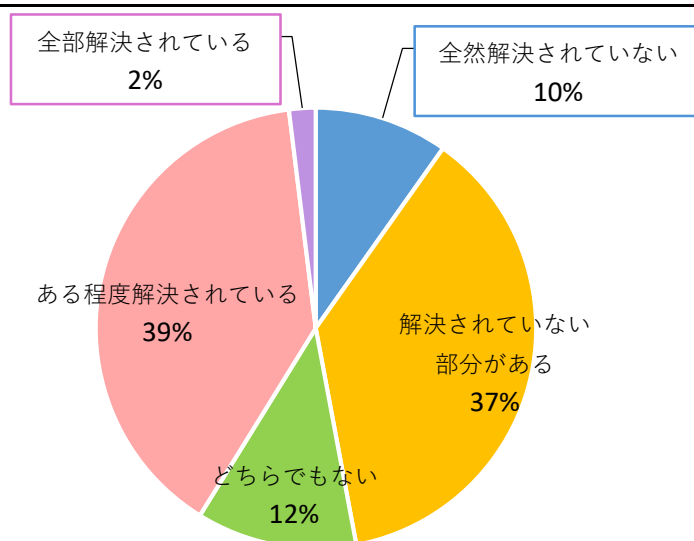
役員の活動に対し、満足感・達成感を得られているか。



・「ある程度得られている」が52%と半数を占めています。これは、役員の皆さんの日々のご努力によってまち協の事業が認知され始めている結果と考えます。さらに、31%の「得られていない」等のご意見に対して、各地域の役員の皆様、市も含めて相互に連携しながら活動を進めて参りたいと考えます。

3

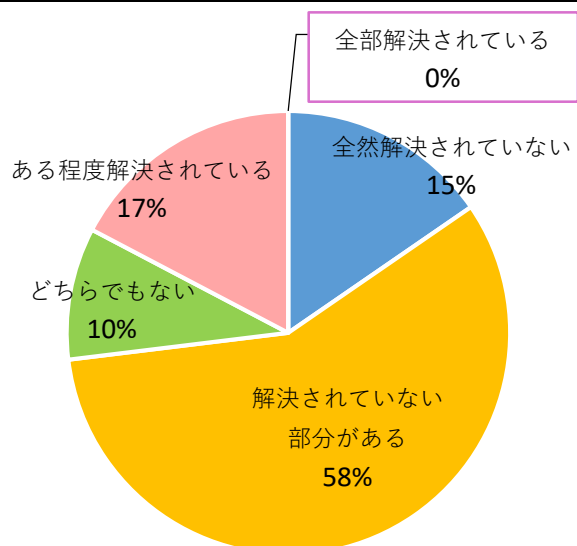
前年踏襲思考の定着により、活動が停滞して新たな事業に踏み出せないという課題。



・「全然解決されていない」「解決されていない部分がある」を合わせると、47%と約半数を占めています。今年度実施した事業の考察を行ったり近隣の事業の取組みを参考にしたりしながら、年度末、次年度に向けた事業の見直しへと繋げていけたらよいと考えます。

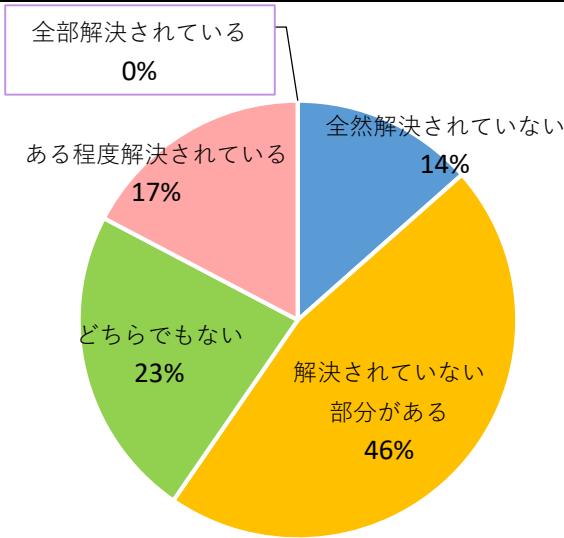
4

少数の役員が複数の団体の役割を担うことが多く、忙しくて会議等が円滑に行えていないという課題。



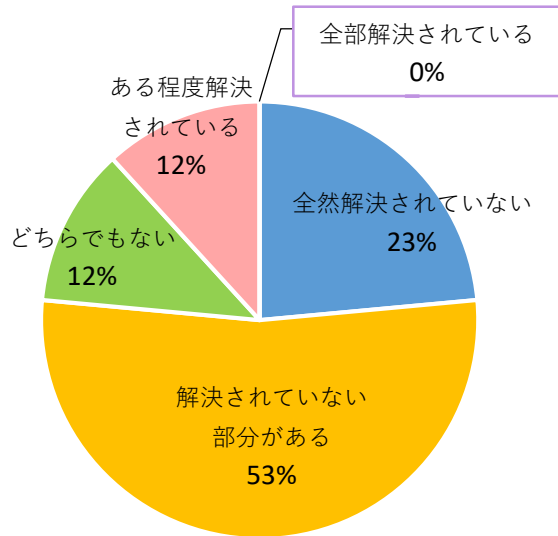
・「全然解決されていない」「解決されていない部分がある」を合わせると、73%と高い割合の回答でした。まち協に役員として参加されている方は、地域で推薦された方で他の団体の役員と兼任をされている方も多く、まさに地域の中心になって活躍されている皆さんと考えます。各地域で活動の分担の仕方あるいは会議の持ち方等により、負担軽減ができるよう進めていただきましたらありがたいです。

5	各まち協間の連携・情報共有不足で他のまち協の活動がよくわからないという課題。
---	--



・「全然解決されていない」「解決されていない部分がある」を合わせると、60%と半数以上を占めました。今年度、市による運営者向け説明会を実施したことにより、ある程度の情報提供を行うことができたのではないかと考えます。今後も、引き続いてHPやフェイスブック等の活用によって、地域の活動の状況を随時発信し、協議会間の情報共有を進めていきたいと考えます。

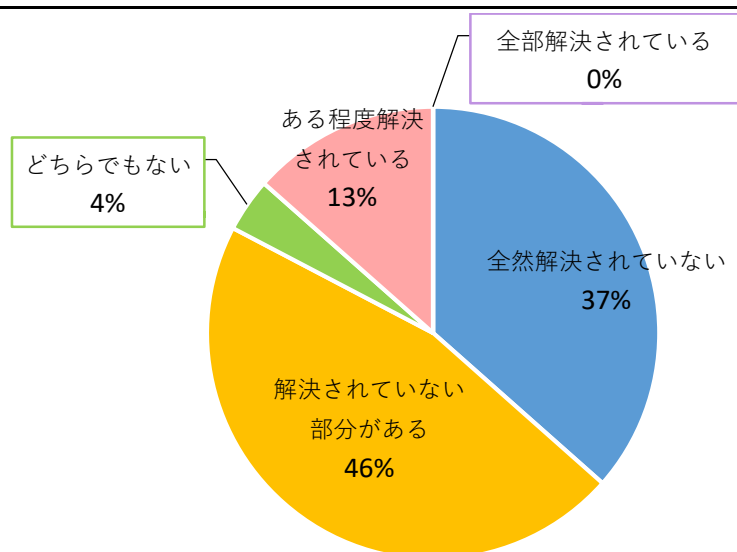
6	地域での活動認知度が低く、新たにボランティアに入るきっかけがわからないという課題。
---	---



・「全然解決されていない」「解決されていない部分がある」を合わせると、76%と高い割合でした。事業の周知等は、地域の回覧等をとおして進めてくださっています。しかし、新たな事業を行ったり新しい団体に参加したりしてもらうことは大変な労力が伴います。既存で活動している団体等との連携や勧誘のために地域自治会と情報連携しながら進めていけるとよいと思います。まち協の活動・計画・イベント告知等をできるだけ早い時期に周知できると参加がしやすくなるのではと考えます。

7

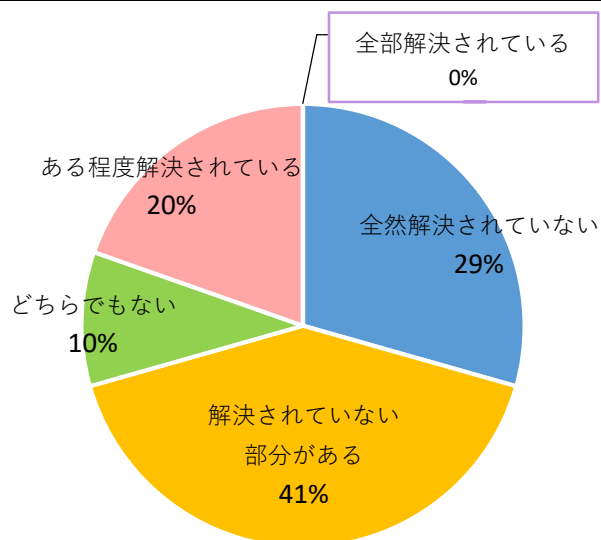
後継者不足により参加者が固定化され、人材育成ができないという課題。



・「全然解決されていない」「解決されていない部分がある」を合わせると、83%とアンケート項目の中で一番高い割合となりました。年代別人口の不均衡や地域の働き手となっている世代の流出や高齢化等様々な問題も関わってくると考えます。各地域で参加団体の掘り起こしをしたり会議の時間を参加しやすい時間帯にするなど、若い世代にも積極的に参加を促していただけたらありがたいです。

8

若年層が参加しやすい事業が企画できないという課題。



・「全然解決されていない」「解決されていない部分がある」を合わせると70%と高い割合です。7番の設問と共通の課題があります。協議会の役員にも既存の団体や若い方、女性を積極的に勧誘し、アイデアを出して頂きながら、新たな事業に目を向けていただけたらありがたいと思います。